

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	小野正利・青木千春・平山雅月・早川咲・ 青野りえ・野崎漱里	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンをを行うとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【科目の概要】 この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル1」「ボーカルアンサンブル2」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の8つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。※楽器レッスンは「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。									
【到達目標】 A. 個性を活かしたオリジナル曲ができる B. 楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる C. コーラスラインを自分で作ることができる D. ベーシックレッスン/アドバンスレッスン「ヴォーカルテクニック」の授業で学んだ実際の楽曲4曲を発声の観点から分析できる E. 発表会でベストパフォーマンスができる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	個性を活かしたオリジナル曲ができ、様々なテクニックを活用できる			個性を活かしたオリジナル曲ができる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 B	楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得でき、実際に活用できる			楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 C	様々なパターンのコーラスラインを作ることができる			コーラスラインを自分で作ることができる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 D	ベーシックレッスン/アドバンスレッスン「ヴォーカルテクニック」の授業で学んだ実際の楽曲4曲を発声の観点から分析できる			ベーシックレッスン/アドバンスレッスン「ヴォーカルテクニック」の授業で学んだ実際の楽曲2曲を発声の観点から分析できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる			発表会でベストパフォーマンスできる				到達目標についてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2026	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	機材知識	機材に関する知識を学ぶ	1	マイクの種類	マイクの種類について理解できる	3	
			2	マイクの指向性	マイクの指向性の違いを理解できる		
			3	ボーカルエフェクト	ボーカルエフェクトについて理解できる		
2	ボーカルレッスン2 ①	オリジナル曲指導	1	添削	メロディ、歌詞、構成をより良く改善できる	3	
			2	歌唱表現	個性を活かした歌唱表現ができる		
			3	パフォーマンス	ステージパフォーマンスができる		
3	ボーカルレッスン2 ②	アドリブテクニックを学ぶ	1	フェイク	フェイクの方法論を理解し実践できる	3	
			2	スキヤット	スキヤットの方法論を理解し実践できる		
			3	ラップ	ラップの方法論を理解し実践できる		
4	ボーカルレッスン2 ③	リズムグループのコントロールについて学ぶ	1	ジャスト	ジャストのリズムで歌唱できる	3	
			2	ブッシュ	ブッシュのリズムで歌唱できる		
			3	レイドバック	レイドバックのリズムで歌唱できる		
5	楽器レッスン①	応用知識を学ぶ	Da	ステップ練習	応用的なステップができる	3	
			Gt	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
			Pf	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
6	楽器レッスン②	基礎練習をする①	Da	ジャンル	様々なジャンルのダンスを踊れる	3	
			Gt	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
			Pf	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
7	楽器レッスン③	基礎練習をする②	Da	ダンスボーカル	ダンスボーカルができる	3	
			Gt	弾き語り	ギターの弾き語りができる		
			Pf	弾き語り	ピアノの弾き語りができる		
8	コーラス2①	英語のネイティブな発音について学ぶ	1	発音記号	英語の発音記号の種類を理解し発音ができる	3	
			2	口と喉の形	発音時の口と喉の形を意識できる		
			3	舌の動き	発音時の舌の動きを意識できる		
9	コーラス2②	コーラスラインの基本的な作り方と考え方を学ぶ	1	3度上/3度下	メロディに対して3度上/3度下のラインを作れる	3	
			2	コード構成音	メロディに対してコードの構成音を利用したラインを作れる		
			3	ユニゾン/オクターブ	ユニゾン/オクターブ上下のラインを作れる		
10	コーラス2③	コーラスラインのアイデアを学ぶ	1	字ハモ	メロディに対して字ハモでコーラスできる	3	
			2	カウンターライン	メロディに対してカウンターとなるラインを作れる		
			3	ウーアー	ウーアーなどを利用したラインを作れる		
11	オリジナル作品制作①	エフェクトを活用する	1	補正系	補正系エフェクトの使い方について理解できる	3	
			2	空間系	空間系エフェクトの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
12	オリジナル作品制作②	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる	3	
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
13	オリジナル作品制作③	Real Dreamsに向けた音源を制作する	1	楽曲・オケ制作	Real Dreamsに向けた楽曲とオケを制作できる	3	
			2	歌詞作成	楽曲の歌詞を作成できる		
			3	レコーディング	レコーディングして音源を完成させられる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる	3	
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる	3	
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等